

# Be Ambitious.



港区立港南中学校  
第1学年 学年通信 No.18  
平成30年 7月10日(火)



運動会、野辺山移動教室、定期考査と盛りだくさんの行事が終わり、気が付けばもうすぐ夏休みですね。運動会では中学校入ってから初めての学校行事。どのクラスも精いっぱい取り組み、悔いのないものになりましたね。

野辺山移動教室では・・・1日目！遅刻者も出ず、みんなで元気よく出発し、吐竜の滝から清泉寮までの道のりを歩きました。岩肌を登る行程もあり、冒険気分でしたね。

2日目はハヶ岳連峰の登山と白駒池の散策の二手に分かれました。登山では途中雨に降られながらも頂上では本当に美しい景色を観ることができました。みんなの心にも残った景色だったのではないのでしょうか。

3日目はプロジェクトアドベンチャー！クラスごと2チームに分かれて様々なチャレンジをしましたね。リーダーの方は先生とは違い、答えをくれるのではなく、「どうしたらよいのか？」と考えさせてくれたと思います。全員が協力して知恵を出し合い、助け合わないとかクリアできないものばかりでした。大人力を借りず、自分たちで協力する。困難だけれども、達成感があるものだったことでしょう。夜はレクで肝試し。レク係が1週間以上前から準備してきたものです。「楽しかった」「本当に怖くて泣いちゃった」様々な反応がありましたが、みんなで十分に楽しむことができましたね。

4日目はJAハヶ岳牧場に行きました。仔牛と触れ合い、牛の餌やりや乳しぼりの体験をしました。活動を通して命について、食べ物を頂くことについて、考えを深めることができましたね。3泊4日の行程、大きな怪我や事故もなく、過ごすことができたのが何よりです。行事を通してひとまわり成長できましたね。



## 運動会の作文

### 応援は力になる

「がんばれ」その声は力に変わる。この運動会を通して、応援することの大切さを改めて知った。今回の運動会で個人種目として1000m走に出場した。先輩たちと同時にスタートし、周りの人たちに付いていけるか、不安でとても緊張していた。初めのほうは緊張や不安から自分なりの良いペースで走ることができていなかった。だが、同じクラスの人や赤組の人たちの声が入ってきた瞬間、私は一人で走っているわけではなく、応援してくれている人たちがいると思え、自然と力が湧いてきた。そこから、全力であきらめずに走ることができ、とても清々しい気分ゴールにたどり着くことができた。この時、応援の声が聴こえていなかったら、途中であきらめていたかもしれない。

また、応援にはもう一つの良さがあることを知った、それは、応援する人たちで一体となれることである、応援する側も、一人一人が全力で声を出して思いを届けようとするので、きっと心が一つに結ばれるのだ。私はそれを「団結」というのだと思った。

このように、応援は一人一人の心に届き、力に変えられることができると思う。応援の素晴らしさや大切さを知ることができたならば、これからは例え小さなことでも、人が一生けん命に頑張っていることを心から応援できる人になろうと思った。

### 運動会を通して

運動会を通して、1年A組はやっぱりいいクラスだと実感した。その理由は3つある。

一つ目は団結力がすごくあるということだ。全員リレーではしっかりとバトンをつないで1位になった。いかだ流しでは2位との差がギリギリで最後、早く並ぶことによって勝つことができた。そこもやっぱりA組の良い団結ができたのだと思う。

二つ目はしっかり仲間を応援できるところだ。リレーで自分の番が終わった後も仲間の応援をしっかりとしていた。応援をすると、応援をされている側も力が湧いてくると思う。この応援もAくみが優勝できた理由の一つだと思う。

三つ目はほかの学年の応援までしっかりとしているところだ。とくにすごかったのが3年生の全員リレーで、クラスのみんなは自席から、大きな声で応援していた、3年A組が逆転勝利したときは盛り上がりがとてもすごかった。

最後にぼくは1年A組の良いところをたくさん見つけることができた。次の学年になるまで、まだ時間があるからもっと1年A組の良いところを見つけていきたい。